

# 地質ニュース

昭和 47 年 5 月

第 213 号

1972

解 説	日本列島最古の岩石……………柴 田 賢 1 足 立 守
	沖縄の水資源 5. 八重山群島・黒島の水……………小 野 西 泰次郎 14 野 間 泰 二
	昭和46年度の海外関係業務をふりかえって……………海外地質調査協力室 29
トピックス	世界の宝 沖縄本島南部ガス田……………沖縄天然ガス研究グループ 34
	和田維四郎年譜……………今 井 功 48
資 料	太平洋の鉄・マンガン団塊 ①……………盛 谷 智之訳 55
	学会 掲 示 板……………54
	地 学 と 切 手……………P. Q…47

## 編 集 地 質 調 査 所

### 日 本 列 島 最 古 の 岩 石

#### 表 紙 の 写 真

岐阜県加茂郡七宗町にみられる上麻生礫岩には 堆積岩・火成岩・変成岩の礫が数多く含まれている。ここで紹介するのは 日本最古の変成年代を持つ珪線石黒雲母片麻岩（径約18×14cmの円礫）である。この片麻岩は粗粒で弱い片麻状構造を持ち 所々にカリ長石の大きな斑状変晶（porphyroblast）が存在する。おもな構成鉱物はカリ長石・石英・斜長石・黒雲母・珪線石・白雲母で その他に少量の電気石・藍青石（?）・ジルコン・燐灰石・黒鉛・磁鉄鉱が含まれている。黒雲母は鱗状（flaky）で赤味を帯び 時として2.5mm大に達する。黒雲母から得られた K-Ar および Rb-Sr 年代は どちらも 1660m.y. という先カンブリア時代中期の変成年代を示し 現在まで知られている日本最古の片麻岩であることが判明した。この片麻岩は日本の古生代地向斜の基盤および後背地 さらに東アジアの先カンブリア地質学を考えるうえで大きな意義を持っているといえよう。

（文 足立 守 写真 正井義郎）